

# 何方でも理解できる発泡プラスチックの基礎

～発泡の原理？成形プロセス？強度向上法？新発泡成形法！～

- ◆日時：2025年08月28日(木) 10:30～16:30
- ◆会場：【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆聴講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。  
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**  
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

**●講師：コンサルSMS 代表、金沢工業大学・名誉教授・工学博士 新保 實 氏**

プラスチックの発泡は、素材が粘弾性特性を示すがゆえに実現可能となる。従って、対象とする素材の粘弾性特性を把握することで、所望の発泡体(所望の気泡径及び発泡倍率等)を得るための成形条件が、感や経験に頼らず選定することができる。発泡体の気泡の形成は弾性領域では出来ず、粘弾性領域で空隙内の素材を移動あるいは流動させることで可能となる。ここでは、まず発泡の原理を説明し、次に、各種発泡剤の性状を説明し、発泡原理に基づいた発泡制御法を素材の粘弾性特性との関連で説明する。そして、発泡体の強度向上法並びに我々の研究グループが最近開発した古くて新しい最新技術として、表面性状を良好にできる新発泡成形技術やそり等の不良を防止し、且つ軽量化が図れる新射出成形技術を説明する。

<p><b>1. 発泡の原理とは？</b></p> <p>1-1 発泡原理の定性的説明</p> <p>1-2 発泡剤の性状 固体発泡剤, 気体発泡剤, 液体発泡剤</p> <p>1-3 気泡径・気泡数に関する基礎理論 均一核生成理論</p> <p><b>2. 発泡制御に必要な発泡素材の諸特性とは？</b></p> <p>2-1 素材の粘弾性特性 弾性率の時間及び温度依存性</p> <p>2-2 素材の溶解特性</p> <p><b>3. 発泡制御法と成形プロセスとは？</b></p> <p>3-1 バッチ式発泡成形システム</p> <p>3-2 連続発泡成形システム 射出発泡成形、ノズル式射出発泡成形、押出発泡成形、ブロー発泡成形</p> <p>3-3 発泡に及ぼす影響因子と発泡制御</p> <p>a) 基本的な影響因子 b) 超臨界流体とその応用 c) 溶解特性 d) 粘弾性特性に基づいた発泡制御法</p>	<p><b>4. 発泡体の諸特性と強度向上法とは？</b></p> <p>4-1 鈴構造体と減衰特性</p> <p>4-2 強度向上法</p> <p>a) 微小気泡による強度向上 b) 分子配向による強度向上 c) その他の強度向上</p> <p><b>5. 古くて新しい新射出成形法とは？</b></p> <p>5-1 液状発泡剤+GCP(ガス・カウンター・プレッシャー)発泡成形法 GCPの基本原則, GCP発泡成形方法</p> <p>5-2 射出中空成形法 射出中空成形の原理, 射出中空成形方法</p> <p>5-3 射出圧空成形法 射出圧空成形の原理, 射出圧空成形方法</p>
---	--

**『発泡プラスチック【WEBセミナー】』セミナー申込書**

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。  Eメール  郵送

**● Webセミナーの受講申込みについて ●**

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



**株式会社 R & D 支援センター**

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階  
 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>